

地 方 協 会 長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会  
会 長 大 石 久 和

印省略

## 令和元年度 実地研修会 (平成28年熊本地震の復旧・復興と立野ダムの建設) 開催について ～災害復旧に向けた取り組み・ダム建設事業とその機能と役割～

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

本協会では、令和元年7月11日(木)～12日(金)に標記実地研修会を開催いたします。

本実地研修会では、平成28年熊本地震における権限代行による復旧・復興事業を視察するとともに、立野ダム(重力式コンクリートダム)の建設事業とその機能や役割について学ぶことを目的としています。

なお、本実地研修会は国土交通省の後援(予定)のもと実施します。

② 日 程：別紙日程表のとおり

② 募 集 人 数：80名(現場条件により、中型バス2台、小型バス1台で実施)

③ 研 修 料：一般(非会員) …………… 20,000円(税込み)

正会員・特別会員・賛助会員 …………… 15,000円( )

※若手(30歳未満)割引はありません。

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

※研修料は、1～2日目の費用です。斡旋宿舎の宿泊料は含みません。

現場研修時の昼食代(1,200円)を含みます。

④ 申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、できるだけ所属協会事務局を通じ期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。

申込者数が募集人数以内の場合、参加できる旨ご通知します。

申込者数が募集人数を超えた場合、本会にて選考し(地域性を考慮しつつ若手の方を優先)その結果をご通知します。

通知は、6月13日～20日頃を予定しています。

研修料の振込みは、本会からの通知の後をお願いします。

④ 申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: [kensyu@zenken.com](mailto:kensyu@zenken.com)

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 キーストーン赤坂ビル7F

TEL: 03-3585-4546 FAX: 03-3586-6640

⑤ 申 込 締 切 日：令和元年6月7日(金) 必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※参加者が決定した後の取り消し(返金等)については、原則行いません。

※研修料の領収書及び視察資料は当日集合場所にて、参加証は視察終了後にお渡しいたします。

※参加者には、本部で国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。

・本研修会は、本協会で実施の「全建CPD(継続教育)制度」の認定講習会として[聴講:1.5単位、現場研修:2.5単位](予定)が取得できます。

・技術講習会、実地研修会の情報については、全建ホームページをご覧ください。 <http://www.zenken.com/>

主催：(一社)全日本建設技術協会 後援：国土交通省（予定）

令和元年度 実地研修会 日程  
平成28年熊本地震の復旧・復興と立野ダムの建設  
～災害復旧に向けた取り組み・ダム建設事業とその機能と役割～

本実地研修会では、平成28年熊本地震における権限代行による復旧・復興事業を視察するとともに、立野ダム（重力式コンクリートダム）の建設事業とその機能や役割について学びます。

会場 …… ネストホテル熊本（TKPガーデンシティネストホテル熊本）2F「あそ」  
〒860-0804 熊本市中央区辛島町4-39 TEL:096-322-3911

(1日目) 開場15:30	令和元年7月11日(木) 【聴講】	(敬称略)
16:00 } 立野ダムの建設とその機能や役割について 16:50	国土交通省九州地方整備局 立野ダム工事事務所 所長	阿部 成二
17:00 } 阿蘇大橋架替工事・阿蘇大橋地区斜面防災対策 17:50 工事について	国土交通省九州地方整備局 熊本復興事務所 所長	大榎 謙
18:00～19:30	「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ 会費2,000円> ネストホテル熊本（TKPガーデンシティネストホテル熊本）2F「たかちほ」	
(2日目) 集合 8:00～	7月12日(金) 【現場研修】	
<b>桜の馬場 城彩苑 駐車場(8:30) 出発</b> → 立野ダム建設事業(下車説明) → 長陽大橋(車窓見学) → 昼食[阿蘇市内] → 阿蘇大橋架替工事・阿蘇大橋地区斜面防災対策工事(下車説明) → 俵山トンネル[H29年度全建賞受賞事業]・俵山大橋・桑鶴大橋(車窓見学) → 阿蘇くまもと空港(15:10) / JR熊本駅(16:10) 着後解散		
※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。		

全建CPD(継続教育)制度認定プログラム(建設系CPDプログラム)  
【聴講】1.5単位、【現場研修】2.5単位(予定)

# 令和元年度 実地研修会（阿蘇大橋架替工事他・立野ダム建設事業）事業の概要

## 1. 阿蘇大橋架替工事

熊本県阿蘇郡南阿蘇村立野地区

国道325号阿蘇大橋は、平成28年4月16日に発生した本震により大規模な斜面崩壊で通行不能となり、現在、国が熊本県からの要請を受け、道路法に基づく国の権限代行事業として、平成32年度の全線開通を目標に災害復旧事業を行っています。これまでに4回の技術検討会を開催し、崩落前の阿蘇大橋から約600m下流の位置に橋長345mのPC3径間連続ラーメン箱桁橋にて架け替え工事をおこなっております。新橋本体を含めた架替ルートは全体で約1km、「アプローチ区間」を含めた橋梁延長は525mとなっています。昨年度までに、阿蘇大橋の下部工8基中5基が完成し、現在、残りの下部工及び道路改良工事やアプローチ橋の上部工工事を実施しております。

また、阿蘇長陽大橋を含む南阿蘇村道橋の木立野線は、平成29年8月27日に応急復旧により開通しています。これにより阿蘇大橋が完成するまでの代替ルートとして、阿蘇観光の玄関口としての経路を確保するとともに、併せて南阿蘇村の中心部と立野地区を結ぶ南北方向の通行を確保しています。（平成31年3月現在）



## 2. 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事

熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字立野地区

平成28年4月16日に発生した本震により、熊本県阿蘇郡南阿蘇村立野地区において長さ約700m、幅約200m、崩壊土砂量約50万 $m^3$ に及ぶ大規模な斜面崩壊が発生しました。

この崩壊により阿蘇地域の生命線である道路・鉄道等の交通インフラが失われ、地域住民の生活・経済に深刻な打撃となり、早急な復旧が求められています。

崩壊斜面の頭部には多数の開口亀裂や切り立った滑落崖があり、余震や降雨による更なる崩壊の危険性がありました。

このため、無人化施工技術を駆使し、崩壊斜面下部における土留盛土の設置や、斜面頭部への分解組立式バックホウの空輸、高所法面掘削機（遠隔操作）による不安定土砂の除去を行った上で、平成29年1月より崩壊斜面下部での有人による施工と交通インフラの復旧に向けた調査が進められているところです。

更に、平成29年7月からは崩壊斜面上部よりネット工等による斜面の恒久的な安定化対策に着手しており、工事は順調に進捗しています。

（平成31年3月現在）



### 3. 立野ダム建設事業

…………… 熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字立野地区（右岸）

白川流域は、全国平均に比べて降水量が多く、地形的特性から洪水が発生しやすいため、これまで昭和28年6月洪水を始め、平成24年7月洪水など、たびたび白川が氾濫し、家屋の浸水被害が発生しています。このため、同様の洪水に対して被害を防止するための早期の治水対策が望まれています。

そこで、白川沿川の洪水被害を防ぐことを目的とした立野ダムの建設事業が計画されました。

立野ダムは、平常時は水を貯めない洪水調節専用ダム（流水型ダム）であり、昭和28年6月洪水と同程度の洪水を安全に流すことを目指して、基準地点である代継橋地点における基本高水のピーク流量 $3,400\text{m}^3/\text{s}$ を、立野ダムにより $400\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行い、計画高水流量 $3,000\text{m}^3/\text{s}$ に低減し、洪水被害の防止又は軽減を図ります。

現在、立野ダム建設予定地の周辺では、ダム本体建設工事現場へ河川水が流れ込むのを防ぐための白川の「転流」を行い、ダムを支えるのに必要な硬い岩盤を出すための「基礎掘削」を行っています。

昭和28年や平成24年等の災害の悲劇を繰り返さないためにも、最先端の土木技術等を駆使しながら1日も早い治水効果発現のため着実に事業を進めております。（平成31年3月現在）

#### 立野ダムの諸元

##### ○ダムの位置

（右岸）南阿蘇村大字立野（左岸）大津町大字外牧

##### ○目的

洪水調節

##### ○諸元

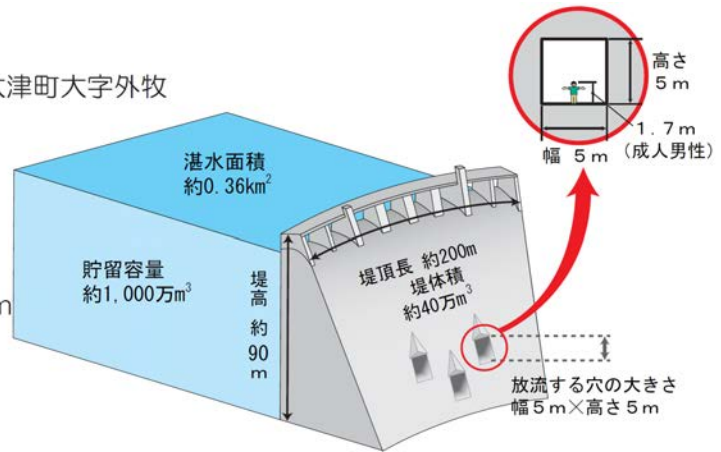
曲線重力式コンクリートダム

堤高：約90m 堤頂長：約200m

貯留容量：約 $1,000\text{万m}^3$

集水面積：約 $383\text{km}^2$

湛水面積：約 $0.36\text{km}^2$



#### 立野ダムの完成イメージ



#### 工事の状況



## 幹旋宿泊及び予約申込案内

宿泊幹旋：宿泊幹旋希望者には熊本市内のホテルを下記のとおり幹旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行（株）首都圏営業部 東京団体支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328  
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15（JFAハウス5階）「全建担当デスク」迄  
（営業時間 9:30～18:00 休業日 土日祝）

申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の4日前まで	宿泊日の3日前 ～2日前まで	宿泊日の前日	宿泊日当日
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の50%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。  
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

## 幹旋する宿舎名、宿泊料

令和元年7月11日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	幹旋人数	宿泊代金
ネストホテル熊本 熊本市中央区辛島町4-39 EL:096-322-3911	シングル	40名	8,100円

※申込締切後、参加者が決定次第、西鉄旅行（株）より「宿泊案内」が送付されます。  
また、禁煙ルームの数には限りがある為、ご希望に添えない場合があります。その場合には、  
消臭対応をさせていただいたお部屋となります。

## 案内図



## 令和元年度実地研修会

「平成28年熊本地震の復旧・復興と立野ダムの建設」に  
参加の皆様へ！

「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会主催の講習会では、全国から多くの方々にご参加いただいております。この機会を有効に活用するため、参加者同士が連携・交流を図り、意見交換・情報交換を行うことで、知見と人脈を広げ、今後の業務に役立てていただくため、「参加者同士の交流会」を実施しています。さらに、講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流を図る場としています。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和元年7月11日(木) 18:00~19:30

場所：ネストホテル熊本 (TKPガーデンシティネストホテル熊本2F)  
「たかちほ」※聴講会場と同じフロア内

会費：2,000円  
(受付時に徴収)

※開催時間は変更が生じることもあります

ので、開催当日にご案内いたします。

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に

○印を記入して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※服装については特に問いません。



### 1. 研修会の参加者同士の交流促進をはかる

①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)      ②意見交換・情報交換

### 2. 参加者と講師との交流・懇談

①講師との交流      ②質疑応答など

※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ> (一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当  
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名  
 (特別・賛助会員名、会社名)

令和元年度 実地研修会 (平成28年熊本地震の復旧・復興と立野ダムの建設) 申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に実地研修会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講・現場		交流会	宿泊 7/11 ○禁 ○喫	選考結果
(フリガナ) 氏名 (女性の場合は番号に○をつけて下さい)	年齢		一(非 会 員)	正・特・ 賛			
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
※ 一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。 ※ 宿泊料は、実地研修料に含みませんのでご注意下さい。 ※ この実地研修会は募集人数が少ないことから、申込み締め切り後に本部より選考結果を通知します。研修料のお振り込みは、その後をお願いいたします。 なお、宿泊申込みは、選考にもれた場合は自動的にキャンセルになります。					交流会費 2000 円は現地 でお支 払い下 さい	お宿 泊 払 代 金 下 は ホ テ ル チ ェ ッ ク イ ン 時 に	※この欄は事務局が使用します
実地研修料		※この欄は本部事務局が使用します。					
一般(非会員)	名×20,000円＝	円					
正会員・特別会員・賛助会員	名×15,000円＝	円					
		計	円				

[お申込みについて]

↓ 本部の通知後に全建に振込

必要事項を記入し、期限までにできるだけメール又は郵送にてお申込み下さい。  
 研修料[銀行振込の(写)]は、本会からの通知後にメール又はFAXにて送付願います。

[変更・取り消し・追加方法について]

電話での受付はいたしません。  
 本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。  
 申込み締め切り後の参加者の変更はできません。

[実地研修会の昼食について]

実地研修会の昼食は全員用意いたします。不要の申し出は出来ません。